

# 集落営農で取り組む 獣害対策

農事組合法人 ファーム・円心  
代表理事 河野 雅晴

0

## 1. 地域の概要

### (1) 上郡町



赤松地区  
人口：約1,500人（町の約1割）  
3旧小学校区（赤松・大枝・岩木）  
15自治会からなる



1

## 1. 地域の概要

### (2) 赤松地域（楠・河野原・赤松・細野）



清流千種川



白旗城まつり



智頭急行



2

## 2. 旧赤松校区集落営農の概要

### (1) 2階建て方式の地域づくり

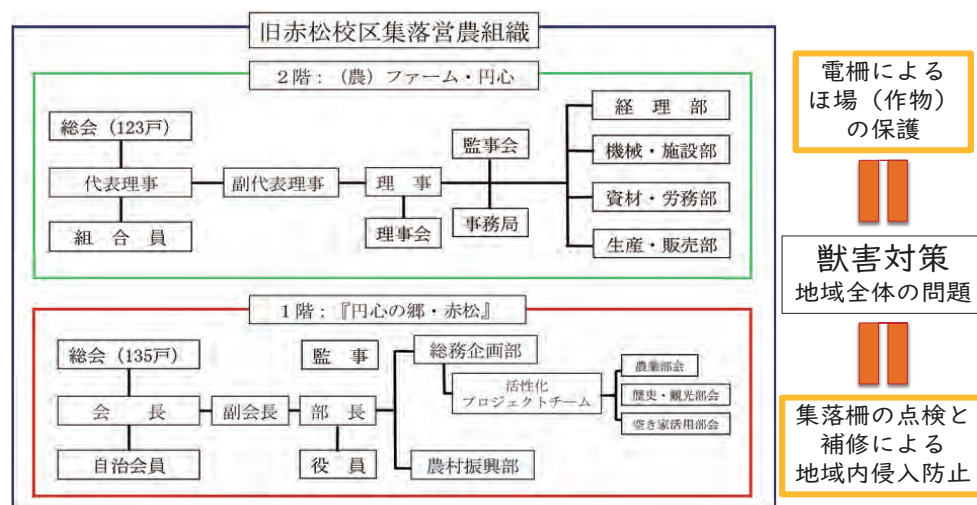
- ① 営農活動について後継者不足、収益性（内容・規模）、地域活性化、法人化について検討を開始（平成29年）
- ② 旧赤松校区集落営農検討会（平成30年4月設立）
  - ・集落アンケート実施・分析・報告、法人化準備の承認
- ③ 法人化準備委員会設立（平成30年10月）
  - ・ビジョン・コンセプト、栽培計画等の決定
  - ・営農の法人形態を農事組合法人（給与確定型）とし、2階建て方式による自治会との連携を決定
    - ☆1階は4集落共通のコミュニティ組織「円心の郷・赤松」
    - ☆2階は経済活動（営農）「ファーム・円心」
- ④ 発起人会発足（令和2年1月）
  - ・「人・農地プラン」、定款・規約・役員、業務規定の決定

※令和2年3月 コミュニティ組織 円心の郷・赤松  
農事組合法人 ファーム・円心 設立

3

## 2. 旧赤松校区集落営農の概要

### (2) 2階建て方式の地域づくりの仕組み



4

## 3. 令和3年度の取組

### ※ 令和3年度から5年度まで獣害対策モデル地区

森林動物研究センター・西播磨獣害対策チームによる  
研修会等の開催

- ・ 8月 4日 箱ワナと集落柵の巡回
- ・ 9月 4日 電柵設置技術研修会
- ・ 9月 7日 箱ワナ管理技術研修会
- ・ 10月12日 箱ワナ設置技術研修会
- ・ 2月24日 WM(ワイヤーメッシュ)補強実習



☆獣に侵入されないように集落柵の点検頻度アップ

☆電柵の設置と電圧維持(8/7~)

☆効果的な箱ワナの設置 ○場所の選定(移設) ○餌の配置

## (1) 令和3年度の取組紹介



R3.8.22 集落柵の点検と補修



R4.3.12 箱ワナの移設



R3.9.4 獣害対策研修会

6

## (2) 令和3年度の取組結果

- ・ 春先畦畔の掘り起しが多かった。154.9a(被害圃場全面積)
- ・ 水稻：電柵設置が出穂後で、9月8日から被害が発生



イノシシによる畦畔  
の掘り起しが多発



7



## 4. 令和4年度の取組

### (1) 集落柵点検・補修の励行

赤 松：不定期（侵入を確認したら点検）→1回／月  
 ☆森林再生事業（上郡町事業）により山裾の整備予定  
 メッシュ柵下にトタン設置…R5.3/4（合同）

河野原：1回（4月）／年、  
 不定期（侵入を確認したら点検）→1回／月  
 自治会で2人1組で3班体制で巡回

細 野：4回／年 約8人（出られる人が出る。）  
 ☆集落ぐるみの被害対策推進事業（県事業）を活用  
 し、メッシュ柵を設置…R5.1/29（合同）

楠 1回／年 約15人で実施

8

## 4. 令和4年度の取組

### (2) 早めの電柵設置（令和4年7月11日から）

- ・作物に被害が出る前に電柵を設置
- ・電柵の電圧確認



出穂前に水田へ電柵設置



電柵の電圧確認



電柵下の除草

9

## 4. 令和4年度の取組

### (3) 箱ワナ設置の技術アップ

ワナの設置場所を吟味（センサーカメラ活用）  
 獣の寄り付き具合に合わせた餌の配置  
 粘り強い餌付け



おびき寄せ



中へ誘導



毎朝の確認と餌の配置

10

## 4. 令和4年度の取組

### (4) 箱ワナによる捕獲実績（R3.10～イノシシ1、シカ2）



| 獣種   | 河野原 | 赤松① | 赤松② | 赤松③ | 赤松④ |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| シカ   | 1   | 2   | 5   | 2   | 1   |
| イノシシ |     | 1   | 6   | 4   | 1   |
| 合計23 | 1   | 3   | 11  | 6   | 2   |

11

## 5. 令和4年度の取組結果

- ・ 令和4年度はイノシシが侵入した水田は少なく、獣害で収穫できなかったほ場はなし58.1a（被害圃場全面積）
- ・ 獣は集落内に侵入しているため、畦畔の被害は減少してもなくなる



12

## 6. 令和5年度の取組

### 【地域の今後の目標】

ほ場へ侵入させない、集落へ侵入する個体を柵の外側で捕獲する

### 【活動】

- (1) 集落柵の点検・補修  
自治会と連携した定期点検の推進  
集落の実情にあった事業の検討
- (2) 作物の被害防止  
電柵の適切な設置、被害に遭うまでに設置する
- (3) 捕獲技術の向上  
箱ワナの設置と運営

### 【課題】

- ※ 防護・捕獲技術の向上（わな猟免許取得の推進等）
- ※ 必要な設備の導入・更新（効果的な事業の活用）
- ※ 後進の育成

13

## 7. 令和5年度の取組結果

- ・ 令和5年度はイノシシが侵入した水田は3枚、9.7a（被害圃場全面積）と減少  
〈作付け状況〉  
水稲2,530a 小麦993a 白大豆2,063a  
野菜23a

### ・ 箱ワナによる捕獲実績

| 獣種    | 赤松<br>しんのく谷 | 赤松<br>白旗山口 | 河野原<br>川尻 | 河野原<br>公民館裏 |
|-------|-------------|------------|-----------|-------------|
| シカ    | 1           | 1          | 1         | 7           |
| イノシシ  |             | 1          |           | 6           |
| アナグマ  |             |            |           | 2           |
| 合 計19 | 1           | 2          | 1         | 15          |

14

## 8. 令和6年度の取組

獣害対策モデル地区→**県鳥獣被害集落支援自立  
サポート事業**

### ・ 3年間の取組を活かして活動

- ① メッシュ柵の定期点検（防除）
- ② 早めの電柵設置（防除）
- ③ 捕獲技術の研鑽（捕獲）センサーカメラ活用  
(狩猟免許：箱わな3人)

15

## 9. 令和6年度の取組経過

- 令和6年度はイノシシが侵入した水田は2枚、実質10aで少なかった。
- 〈作付け状況〉
- 水稻2,700a 小麦900a 白大豆1,100a
- 野菜50a

| 獣種   | 赤松<br>しんのく谷 | 赤松<br>白旗山口 | 河野原<br>川尻 | 河野原<br>公民館裏   |
|------|-------------|------------|-----------|---------------|
| シカ   | 0           | 0          | 0         | 1             |
| イノシシ | 1           | 1          | 1         | 0             |
| アナグマ | 0           | 0          | 0         | 8<br>(アライグマ2) |
| 合計   | 1           | 1          | 1         | 9             |

16

## 10. 今後の課題

- 定着してきた獣害対策活動を持続的なものに



理解者を増やす（人材育成、新聞発行）

- 農村の高齢化が進む中で、地域環境保全対策



地域住民の協力（自治会）

- 被害対策7本柱の定着化
- 〔 柵の定期点検、早めの電柵設置、野獣出没状況の把握、効果的な罠設置、罠免許取得、防護・捕獲技術の向上、行政・JA等の支援事業の活用

17

ご清聴ありがとうございました。

18

